

パッション
フルーツ
かぼちゃ

奄美市 福永 大輔さん(35歳)
潜水夫から新たに農業に挑戦!

研修先
所在地及び連絡先

(公財) 奄美市農業研究センター (奄美市農業研修センター)
奄美市名瀬大字朝戸1500 電話: 0997-54-9001

<研修作物>

パッションフルーツ
かぼちゃ
実えんどう



<新規就農を志した経緯・背景>

- ・島内でまぐろ養殖業の潜水夫に従事していたが、体力が求められることから将来性を考えて転職を決意。
- ・実家が兼業農家でパッションフルーツを生産していたことから、同じ作物で自営就農を目指すこととした。
- ・農業経験はなかったので、就農に向けて農業技術を習得することが必要と考え、島内の研修施設で研修生となった。

支援策の活用例

- ・就農準備資金(年間150万円)(国庫事業)を活用し、研修中の生活費、資材等を購入。

これまで苦労した点

- ・就農準備をしているが、農地の確保ができていない。

研修して良かった点

- ・農業生産に関する知識の習得ができた。
- ・研修過程において研修仲間との苦労もあったが、お互い協力して農業研修の目的を達成できたこと。
- ・就農時の目標が明確になったこと。

就農に向けた今後の目標 (現在)

- 【研修期間】(令和5年7月~令和7年6月)
- ・野菜・果樹の基礎講座、パッションフルーツの栽培技術研修、先進地研修、各種講習会等への参加。
 - ・初年度は、基礎的な農業技術の習得。
 - ・研修2年目は、実践研修主体。

(将来)

【就農後】(令和7年7月~)

- ・パッションフルーツ14a借り受け予定(センター8a、奄美市6a)
- ・かぼちゃ作付け予定
- ・3名の組合を設立し、奄振事業を活用してハウスを建設する予定

就農を目指す方へのアドバイス

- ・農業を目指すのであれば、就農に向けて、農業技術の習得は必須なので農業研修生となり、基礎からしっかり学んでほしい。
- ・現在、農地を確保するため探しているが、簡単に見つからない状況にあるので就農する場所や農地環境等の情報も入手して早め早めに就農場所についても検討すること。